

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



～移りゆく季節～

あなやまハイツ周辺



『感染報告』

社会福祉法人信和会

理事長 栗原 信

4月の機関紙にて、「アフターコロナ」という題で寄稿させていただきました。その後もコロナウイルスの猛威は衰えることなく変異し、さらに感染力を増して人々の生活を一変させ続けています。

そんな中、6月に当法人の障害者支援施設 穴山の里でクラスターが発生しました。最初に職員1名、利用者5名の感染が確認され、翌日には、利用者全員と職員24名の検査を行い、利用者は、前日の5名を含め29名、職員2名の感染が新たに確認されました。すぐに、山梨県、中北保健所が対応してくださり、穴山の里に対策本部が設置されました。病院への入院が難しい障害者もあり、重症化が懸念される方以外は、施設の中で対応する方針に決めました。すぐにDMAT（災害派遣医療チーム）が派遣され、医師2名、看護師4名の24時間体制で利用者の状態を管理することとなり、その後、障害者の服用している薬の調整も必要になるとの判断から、当法人の嘱託医の了解を得て、施設の中で薬の調整もできるようにDPAT（災害派遣精神医療チーム）の派遣も決まりました。法人としても本部職員の派遣、各施設からの応援体制を検討し対応しました。職員の感染もあり、限られた人数で支援を行うのは難しく、穴山の里職員には主に夜勤をお願いし、各施設からの応援職員は食事介助等の直接処遇と清掃等の間接処遇職員に分け、手のまわらない範囲をカバーする体制を取りました。職員の家族への感染の不安や自宅の近所への配慮から、法人で宿泊施設を借り受け、希望者はそこから出勤してもらいました。濃厚接触者ですので、施設と宿泊施設の往復です。食事は施設で手配しましたが、どこにも立ち寄ることができず、家族に会うこともできない環境の中で仕事をしてもらいました。感染症対策の説明を受け業務にあたりましたが、自分が感染するかもしれないという不安、また慣れない防護服での利用者へのケアで、精神的にも、肉体的にも疲弊し現場は想像を超える状態でした。そんな中でも、DMATの医師、看護師の皆様が、穴山の里で働く職員が、倒れないようにと本当に、明るく笑顔でお世話をしていただきました。職員が心配しないように、最高の笑顔で「大丈夫ですよ。」と答えていただいたことは忘れられません。数多くの体験をしてきている強さ、やさしさ本当にすごかったです。職員の精神的なケアとして、DPATの医師、臨床心理士、中北保健所の職員が、職員一人一人に時間を取って面談も行ってくれました。

利用者の皆様も本当に頑張ってくれました。入院された15名の利用者以外は、通常とは違う隔離された空間で、食事もすべて使い捨てのお弁当の容器での提供、防護服を着た知らない医師、看護師がおり、職員も防護服です。何が起きているのかわからない中、大きなパニックを起こさずに、何か大変な事が起きていることを理解しているようでした。利用者の可能性を改めて感じることができました。また、入院した施設職員が多いため、利用者の支援のため職員の派遣を山梨県知的障害者支援協会に依頼したところ多くの方が支援に参加してくれました。その他にも会員の施設から遊具やDVDなどの支援もしていただきました。6月末には感染が収束し、7月6日に区長さんと公民館主事さんが地区の代表として、「早く良くなってください。」「一緒に行事を行いましょう」と書かれた短冊の飾られた、七夕飾りを届けてくださいました。その他にも本当に、数多くの皆様のご厚意、ご支援を賜りました。心より感謝申し上げます。

このたびのコロナウイルス感染で、大変な思いもしましたが、皆さまのおかげで、職員、利用者が全員無事で帰ってきてくれたことは本当にうれしかったです。また、職員の休暇の取りやすい環境づくりの必要性、感染防止への意識の向上、職員、利用者一人一人の頑張りや可能性、多くのことを学ぶことができました。あらためて、地域や関係する方々からの温かい支援を感じることができたことは、私自身の大きな経験となりました。穴山の里が本当に多くの方々によって支えられていることを改めて実感することができました。

最終的には、利用者49名、職員21名の多数の感染者を発生させたことを真摯に受け止め、深く反省し、より一層の感染予防対策の徹底に努めてまいります。皆様方からいただいたご厚意、ご支援に対してお返しできるようにこれから頑張ってまいります。どうぞ、今後ともよろしくお祈りいたします。



本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 荳崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

- 開催日時 : 【理事会】 令和3年5月22日(土) 10:00～
 【評議員会】 令和3年8月2日(月) 書面承認
- 開催場所 : 穴山の杜 会議室
- 審議事項 : 第1号議案 令和2年度事業報告について
 第2号議案 令和2年度決算報告について
 第3号議案 令和2年度監事監査報告について
 第4号議案 理事、監事、評議員の更新について
 第5号議案 事業近況報告について



令和3年度第1回の定期理事会・評議員会は、当初は両会議とも穴山の杜にて対面会議を予定しておりました。理事会は予定通り開催できましたが、ご存じの通り穴山の里にて新型コロナウイルス感染症のクラスター発生により6月の評議員会の対面会議は一旦中止させていただきました。穴山の里の感染状況が収束し法人事業運営も落ち着いたところで検討の結果書面会議とする事とし、郵送にて確認をお願いして全員のご承認をもって全議案を可決いたしました。今年度は通常の決算関連の議題に加えて、社会福祉法人法の改正による役員更新が見直されて4年目となり、全役員の更新時期と重なりました。事業として旧穴山保育園跡地をグループホームの建設を見込んで購入したことなどご報告し承認いただきました。決算書につきまして資料報告を添付いたします。

法人単位貸借対照表
令和3年3月31日現在

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
0001 流動資産	880,331,010	788,078,524	92,252,486	0006 流動負債	111,257,372	103,608,718	7,648,654
0002 固定資産	1,541,111,935	1,563,885,142	-22,573,207	0007 固定負債	124,620,740	147,899,890	-23,279,150
0003 基本財産	1,045,189,384	1,062,570,244	-17,380,860	負債の部合計	235,878,112	251,508,608	-15,630,496
0004 その他の固定資産	495,922,551	501,114,898	-5,192,347	純 資 産 の 部			
				0009 基本金	228,532,898	228,532,898	
				0010 国庫補助金等特別積立金	271,229,435	289,967,055	-18,737,620
				0011 その他の積立金	113,000,000	113,000,000	
				0012 次期繰越活動増減差額	1,574,802,500	1,470,755,105	104,047,395
				3311 次期繰越活動増減差額	1,574,802,500	1,470,755,105	104,047,395
				3312 (うち当期活動増減差額)	104,047,395	64,641,634	39,405,761
				純資産の部合計	2,185,564,833	2,100,255,058	85,309,775
資産の部合計	2,421,442,945	2,351,763,666	69,679,279	負債及び純資産の部合計	2,421,442,945	2,351,763,666	69,679,279

法人単位資金収支計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

勘定科目	決算(B)
事業活動収入計(1)	891,513,137
事業活動支出計(2)	699,474,465
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	192,038,672
施設整備等収入計(4)	4,849,607
施設整備等支出計(5)	96,192,905
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-91,343,298
その他の活動による収入計(7)	115,180
その他の活動支出計(8)	3,795,910
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-3,680,750
予備費支出(10)	—
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	97,014,624
前期末支払資金残高(12)	766,980,555
当期末支払資金残高(11)+(12)	863,995,179

法人単位事業活動計算書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

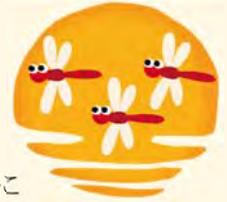
勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)
サービス活動収益計(1)	881,112,441	859,666,159
サービス活動費用計(2)	778,092,557	791,301,407
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	103,019,884	68,364,752
サービス活動外収益計(4)	10,442,696	3,663,572
サービス活動外費用計(5)	4,618,782	4,927,457
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	5,823,914	-1,263,885
経常増減差額(7)=(3)+(6)	108,843,798	67,100,867
特別収益計(8)	4,849,607	4,052,000
特別費用計(9)	9,646,010	6,511,233
特別増減差額(10)=(8)-(9)	-4,796,403	-2,459,233
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	104,047,395	64,641,634
前期繰越活動増減差額(12)	1,470,755,105	1,340,666,471
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,574,802,500	1,405,308,105
基本金取崩額(14)		
その他の積立金取崩額(15)		67,447,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,574,802,500	1,470,755,105

穴山の里

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
Tel.0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



「暑さ寒さも彼岸まで」と言われています。朝夕はめっきり寒くなってきましたが、今年は10月になったのに日中が異常気象の影響なのか25度以上の夏日が続き、寒暖差も10度以上あり、体調の管理が難しい季節となっています。皆様も体調を崩さないようにしてください。しかし、季節は着実に進み穴山の里の周りの木々も色づき本格的な秋を迎えようとしています。この4ヶ月は大変な日々を過ごすことになりましたが、自然の理であるこの言葉のようにどのように困難な事態であっても、やがては終わりが来るので、前を向いて今できることをしっかり行っていきたいと思います。



少しずつ動き出しています

6月4日に新型コロナウイルス感染症が発生しましたが、入院治療されていたご利用者も施設へ戻り、引き続き感染対策をしながら新しい生活様式の中で、日常を取り戻しつつあります。

現在、屋内活動2班と屋外活動1班に分かれて日中活動を少しずつ再開しました。屋内活動のひまわり班は洗濯や清掃を中心に、ほのぼのの班は機能訓練を主として活動しております。屋外活動をしているグループは、軽体操と散歩をして体力作りをしています。活動はご利用者の身体状況配慮し午前中のみで、午後は入浴となっております。



⑨ 中活動風景



天気の良い日は洗濯物を外に干したり、通路の清掃をしながら「今日は風が気持ちいいね」と会話もはずむようになりました。

軽体操で「1・2・3・4」と声を出し、準備運動をしてから、体力が落ちないように、無理のない範囲で器具を使いながら体を動かしています。



活動行事

十五夜



今年は、様々な行事が行えませんでした。みんなで十五夜を祝いました。来年は、豊作になるように願いをかけ、お饅頭を食べました。雲が多い夜でしたが、利用者からは「昨日遅く、月が見えたよ。きれいだった」と教えてもらいました。

縄文プロジェクト

花の谷プロジェクトに参加し、関係する方々と一緒に5月の末に彼岸花の球根の植え付けを行いました。その彼岸花が見ごろになった9月、みんなで散歩をしながら鑑賞しました。燃えるような赤い花に「綺麗だね」と声を上げる方や、「来年も球根を植えてもっともっと増やそう」と決意する方もおりました。穴山の里の周りに毎年増える彼岸花の花を皆さん見に来てください。



～ワクチン接種 始まる～

コロナウイルスに感染された職員、利用者のワクチン接種を行いました。韮崎市と韮崎市地区医師会の協力によって、穴山の里での接種を行っていただきました。

スムーズに接種することができました。本当にありがとうございました。



穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



施設周辺の景色もすっかり秋模様となりました。秋の味覚の果物も店頭並び、味覚を楽しませてくれます。いつ頃名付けられたのか、甲州八珍果と呼ばれるブドウ・モモ・ナシ・カキ・クリ・リンゴ・ザクロ・クルミが秋を代表する果物ですが、なぜ八珍果と呼ばれるようになったのか知っている人いますか？ 果物栽培のIT化も進み労力低減に役立っています、また品種改良は年々進化して、特にブドウは大粒でピンポン玉を超えるような大きな品種まで出現しております。

それにくらべ介護の世界は省力化、合理化が難しく、どうしても人手による業務になってしまいます。今後、更に進む事が予想される人材不足に伴う介護職員の負担増を考えると、人材確保が喫緊の対策になってまいります。穴山の杜においては職員配置については満足すべき状態で推移しており、まずまずの状況です。今夏は、新型コロナウイルスの感染防止が最大のテーマでしたので、家族の皆様には大変ご不便をおかけしておりますが、皆様のご理解ご協力のお蔭をもちまして、入居者の皆様においては大過なく過ごすことが出来たことは大きな喜びであります。まだまだ油断はできませんが、職員一同入居者の安心・安全確保に向けて引き続き努力いたします。



広葉樹が色付き始め、穴山の杜建物から見える景色も日に日に季節の移ろいを感じます



小林章江様が8月に100歳を迎えられました。ご家族が用意して下さった薄紫色の甚平に身を包み、職員や他利用者より誕生日の歌や花束、お祝いの言葉を送られ、時折ニコッと微笑まれました。みんなで食べる誕生日ケーキも格別に美味しかった様子でした。



百歳

おめでとうございます！！

小倉こま江様が8月に100歳を迎えられました。職員から花束を受け取り「もう100歳になるの～！ありがと、嬉しいよ～」と感動されておりました。ご家族が届けて下さった「祝100オケーキ “のキャンドルに灯された火を夢中で吹いて下さいました。他利用者も多く集まり、皆さんで Happy birthday to you を歌い、お誕生日をお祝いしました。



いつも
素敵な笑顔
をありがとう
ございます

9月20日敬老の日のお祝いとして、特別給食が提供されました。栗赤飯・天ぷら・メロンなど見た目も華やかで、「今日は豪華だね」「嬉しいよ」と喜んで下さいました。私たち職員は利用者の人生に関わらせていただいております、その一部として提供する食事を「美味しい」と言っていただけで、本当に嬉しく思い感謝申し上げます。



新型コロナウイルス感染拡大の影響は続き、法人全体での夏祭りは本年も残念ながら中止となりましたが、施設内でのお祭りが開催されました。



提灯などを飾り付け雰囲気を作り、目の前で用意されたお祭り定番の焼きそばやフランクフルト・かき氷を楽しまれました。並んだ焼き鳥を見つめ、「もう一本！」とおかわりされる方もいました。屋台メニューを楽しんだ後には花火大会を行い、夏の思い出となりました。

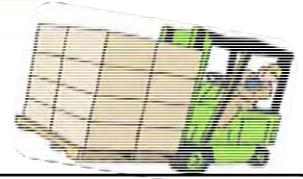
わ〜く 穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



元気に仕事をしています！！

今日もわ〜くの利用者は元気に仕事をしています。
コロナ禍で大変な状況下でもお仕事をくださる企業様には大変感謝しております。



菓子箱折りの作業です。
高い品質の商品を作る
ため、職員と確認なが
ら取り組みます。



春雨をカットする機械
を使つての作業です。声
を掛け合い、安全を確認
しながら進めています。



〜農福連携事業 地域参加への道 ②〜

昨年に引き続き、韮崎市の農福連携事業に取り組んでいます。
マルス穂坂ワイナリー様でのブドウ収穫時に使うコンテナ洗浄
作業も2回目となり、やり方など改善して進めることが出来まし
た。

わ〜くの外に飛び出して、いつもと違う環境の中、刺激や感じる
ことがたくさんあったようです。

作業期間終了後には、どこに気を付けて作業に取り組んだのか、
どのように頑張ったのかなど、誇らしげに振り返りをする姿が見
られました。

快く受け入れていただいたマルス穂坂ワイナリーの皆様。ありが
とうございました。



女同生活事業所

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866



休日も充実しています！

地域の皆様方のご厚意により、利用者の方々も
一緒に、実りある時間を過ごさせていただきました。
良いリフレッシュになりました!!!!

畑づくり

感染対策も
ばっちり!!



GHの花壇を使って…
夏頃から、野菜作りを始め
ました。
土づくりから、種まきま
で。色々な野菜を収穫する
のが、楽しみです!



栗ひろい

秋の味覚《 栗 》みんなで拾
いました。拾った栗は
美味しくいただきました



※稲刈り※

普段何気なく食べている
【お米】お米を食べられ
ることに感謝と、大切さ
を実感できた良い機会に
なりました!!



穴山の杜短期

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 菟崎市穴山町 4410-3
TEL : 0551-25-0800



余暇活動

余暇活動で、ペットボトルのキャップを利用してラベンダーなどを入れた可愛いにおい袋と、ストローを輪切りにしてアイロンで固めるオリジナルのコスターを製作しました。カバンやシルバーカーに付けたり、お土産に持ち帰りました。カラフルなコスターは早速カップに敷いてコーヒーを満喫しました。



展示 作品



季節に合わせて折り紙や厚紙で貼り絵を完成させました。コロナ禍でなかなか外出出来ず、季節の移ろいを感じることはできませんが、窓から入る風や見える景色に触れ、手先を動かしたりハサミなどを使い、アイデアを出しながら作品を作っています。仕上がると一旦ホールに飾り、自分たちで出来栄を確認します。毎回歓声が沸き、その場も一気に明るくなり、次回はどんな作品にしようか?・・・とおしゃべりも始まります。

施設前道路スペースに展示してありますので、ぜひ丹精込めた作品をご覧ください。

おやつレク



5月うぐいす饅頭、9月芋餅チーズを作りました。『花より団子』との掛け声により、餡作りから始めました。芋餅は秋の味覚であるさつま芋とじゃが芋の2種類を作り、焼く係は男性が率先して頑張ってくれました。香ばしい香りが外にまで漂いました。



敬老のお祝い



9月16日にわーく穴山の里の皆さんから手作りの『フクロウの壁飾り』のプレゼントをいただきました。フクロウには『福来朝』という意味が込められており、『いつまでも元気でいてください』とメッセージも添えてありました。皆さん家で飾られたそうです。また、20日の敬老日には『祝いご膳』を食し、お茶の時間に職員からのメッセージカードを一人一人に手渡しました。『おめでとう』と互いに拍手をしていました。抹茶をたしなみながら、長生きの秘訣?の話に盛り上がっていました。



お楽しみ会



法人全体で行う夏祭りの代わりに、9月2日利用者からのリクエストもあり、お楽しみ会として昼食に大人気の『海鮮ちらし寿司』と『茶わん蒸し』を提供しました。午後にはまだまだ残暑が続く中、少しでも祭りの雰囲気味わっていただこうと、カキ氷バイキングも行いました。

感謝録

(令和3年3月16日から令和3年9月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

伊藤正大・千野公洋・仲二見金男・清水好美・古内 保明・木島廣子・中野はる・大河原典子・畦平 香・五十嵐みさ・藤村久男・深沢直樹・深沢淑子・上野恵理子・柴田正雄・吉沢 明・木島廣子・川崎武志・米川 崇・内藤まさ・石原文世・内藤まゆみ・田中邦司・小林章江・能見荘・富士工器株式会社山梨工場・フードバンク山梨・M&R・サンカイゴ・ユニチャーム・東京都・府中市・住吉病院・川惣会・穴山の里保護者会・(福) さかき会・(福) 美咲園・NPO法人あさひ・パル実郷・早野組・富士山の銘水株・日昇総合設備株・細田設備



新型コロナウイルス感染で活動ができない状態の中、支援協会様より室内で楽しめるものを沢山頂きました。

障害者雇用優良事業所 として表彰されました！

山梨県では、9月の「障害者雇用支援月間」にあわせて、障害者を積極的に採用している事業所や長年仕事に取り組んでいる障害者を表彰しています。

ことしは「優良事業所」に、「住友電工デバイス・イノベーション株式会社」と「社会福祉法人信和会」の2つの事業所が選ばれました。この表彰は、障害者の雇用割合が高く、かつ、障害者の雇用に関して積極的に職業安定機関を利用し、その成果が特に顕著と認められる事業所に贈られます。

これからも障害者、高齢者の方とも一緒に働ける職場作りに努めてまいります。



編集後記

変わりゆく季節。

前号が休刊となり月日は半年が過ぎました。オリンピック・パラリンピック、感染が拡大した地域での緊急事態宣言やまん防措置など様々な出来事があった期間でした。万人が夫々の出来事に向かいあい、努力と行動でその成果は期待通りのものとなりました。

今年の秋は今までと少し違う感じがしています。夏の長雨の影響で木々の紅葉にも変化が見られました。

時代は新たな BasicStandard を作ろうとしています。

(I・Y)



訪問録

(令和3年3月16日から令和3年9月15日)

☆教育実習・職場実習 (敬称略)

- ◎わかば支援学校
伊藤愛莉・中嶋華鈴・長田愛来
- ◎山梨学院短期大学
中村遥香・渡邊乃愛
- ◎北杜高校
中村千尋・武藤奈々・飯窪葉奈
- ◎大原学園
高木俊雄・渡辺太朗

☆施設見学 (敬称略)

- ◎清水屋旅館
- ◎河原部社
- ◎マルス穂阪ワイナリー

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆業務支援

- ◎山梨県知的障害者支援協会 延べ45名

☆ボランティア

- 永井萬喜子 (太極拳) ・生山澄江 (書道)

～体と心のストレッチ～

外気温が下がってくるこの季節。冬支度と共にストレッチで筋肉を伸ばし、関節可動域を広く使うために運動をしましょう。無理せず日々のストレッチを試してみても如何ですか？

スタティックストレッチ (静的)

自分で行い、30秒程度伸ばすもの。一番故障のリスクは少ない。

ダイナミックストレッチ (動的)

自分で行い、動きを伴ったもの。反動を用いない。

パリスティックストレッチ

自分で行い、動きを伴ったもの。反動を用いる。

パートナーストレッチ

パートナーについてもらい、姿勢を固定してもらい抵抗をかけて行う。

場面によって使い分けることで運動前後のウォームアップ・クールダウンはもとより、健康の保持や増進、そしてリラックス・疲労回復にも効果が期待できるとされています。

血行促進作用にも効果が期待でき、健康診断が開催されるこの時期、少し体を動かして見ませんか？